

Evening Dinner for all participants

FRIDAY, SEPTEMBER 19, 1975

9:30 A.M. Toshio Kuroda, Ministry of Health and Welfare, Tokyo, Japan: "The Impact of Japanese Internal Migration on the Tokyo Metropolitan Population".

Discussant: James W. White, University of North Carolina

1:30 P.M. Daniel Courgeau, Institut National d'Etudes Demographiques, Paris, France: "Migration and Demographic Phenomena: Methods of Analysis and Findings in France".

Discussant: George Myers, Duke University

Evening Dinner for all participants

SATURDAY, SEPTEMBER 20, 1975

9:30 A.M. Alan B. Simmons, International Development Research Center, Ottawa, Canada: "Public Policy and Migratory Behavior in Selected Developing Countries".

Discussant: Everett Lee, University of Georgia

1:30 P.M. Summation and Closing Remarks

(黒田俊夫記)

第10回国際栄養学会議

第10回国際栄養学会議 (Xth International Congress of Nutrition) が、日本学術会議主催、国際栄養科学連合 (IUNS)、日本栄養・食糧学会、日本栄養士会の共催により、1975年8月3日から9日までの1週間にわたって、京都の国立京都国際会館で開催された。世界58か国から約2,500名(うち日本約1,400名)が参加したマンモス会議である。本研究所からも人口移動部移動科長内野澄子技官が出席した。

この会議は7つのセッションに分かれて行なわれた。すなわち、(1) Basic problems, (2) Physiological aspects, (3) Nutritional deficiency, (4) Clinical nutrition, (5) Nutrition and food production, (6) Community nutrition problems, (7) Ecological and public health aspects である。内野は第(7)セッションで "Effects of Migration Experience on Dietary Custom" について報告した。

"Through Science and Nutrition to Human Wellbeing" (幸せは栄養科学の進歩から) をシンボルとしたこの会議は、一言でいえば栄養学をはるかに超えた食糧、そして人類の生存にかかわる人口問題会議であった。なお、次回はブラジルにおいての開催が決定している。

(内野澄子記)

第43回日本統計学会

昭和50年度の日本統計学会総会ならびに研究報告会は、7月16日(水)から18日(金)までの3日間にわたり、名古屋大学(経済学部)において開催された。本研究所からは、人口政策部政策科長岡崎陽一、人口情報部解析科長山口喜一の両技官が参加した。

本年度の第43回研究報告会においては、四つの共通テーマ(回帰分析、データ・バンク、人口推計および統計教育)が取り上げられた。特に「人口推計」はわれわれの関心と呼ぶテーマであり、その報告会は第2日目の午後、上田正夫座長司会の下に行なわれ、活発な討論がなされた。これに関する報告を参考までに示しておく、次のとおりである。

- 1) 医療施設内死亡の将来予測.....西三郎・方波見重兵衛(国立公衆衛生院)
- 2) 人口静止への試算.....安川正彬(慶応義塾大学)